

在学院生の声

■ 教職大学院へ進学した理由

自身の授業力や教科の専門性を高め、一人でも多くの子もたちが達成感を味わえる授業を行うことができる教師になることを志し、大学院への進学を決めました。

■ 学部の授業と異なる点

大学院では学部の授業に比べ、グループでの話し合いに重きが置かれた授業や、グループで協力し、与えられたシチュエーションから課題解決策を導き出す授業が多く行われていると感じます。

さらに、実際の教育現場で起こりうる状況の解決策や対応策を考え、グループメンバーでロールプレイを行う授業もあり、今まで学部では体験することができなかったことを学ぶことができました。

■ 大学院で学んでよかった・刺激を受けたこと

大学院での授業を通し、目の前の子どもたちの実態や教育的ニーズに合った授業や生徒指導を行うことが大切であると学びました。

■ 修了後の目指す教師像

子どもの努力や優しさに気づき、その姿を子どもたち自身に伝えていける教師になりたいです。

そのような教師になるために、大学院の実習では普段から子どもと接する時間を大切に、良いと感じた行動をメモしておき、適したタイミングで伝えるように意識しています。



令和4年度入学
教科指導重点コース

横井 佑宇さん

- 教職大学院修了見込みにより愛知県教員採用試験1次試験免除
- 教員就職率 94.6% (学部比+20.9%)
- 教育実践を分析・検証し、研究力を磨く「探究力向上プログラム」
教育現場における実践的指導力・応用力を身に付ける「教職力向上プログラム」を新設
- 特定教科に限定しない小学校授業に特化した「小学校教育指導系」履修区分を新設
- 実際の教育現場で学べる長期研修
- 研究者と実務家教員の相互指導による理論と実践の往還
- 現職院生と学部直進院生との共修による学びの深化



国立大学法人

愛知教育大学

AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

愛知教育大学大学院教育学研究科
教育実践高度化専攻

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

教務企画課大学院係 TEL: 0566-26-2679

入試課 TEL: 0566-26-2203

野田 敦 敬

愛知教育大学長



悩むくらいなら
教職大学院へ
ススメ



愛知教育大学大学院教育学研究科
教育実践高度化専攻

詳しくは
HPへ



学部での研究を深化する

NEW

探究力向上プログラム

令和6年度より、「教科指導重点コース」と「児童生徒発達支援コース」に「探究力向上プログラム」を新設します。このプログラムでは、学部での研究をさらに向上させ、教師としての専門性をより高度なものとしていきます。連携協力校での実践的な研究を深め、論文制作に取り組みます。

大学院修了後に本学と静岡大学の共同教育課程である「共同教科開発学専攻」（後期3年のみの博士課程）を目指すことも可能です。



現場に必要なスキルを習得

NEW

教職力向上プログラム

探究力向上プログラムと同時に新設するのが「教職力向上プログラム」です。

このプログラムは、大学院修了後すぐに教育現場で活躍できることを目指し、基本的な授業づくりや基礎的な指導技術などの実践力を習得するためのものです。

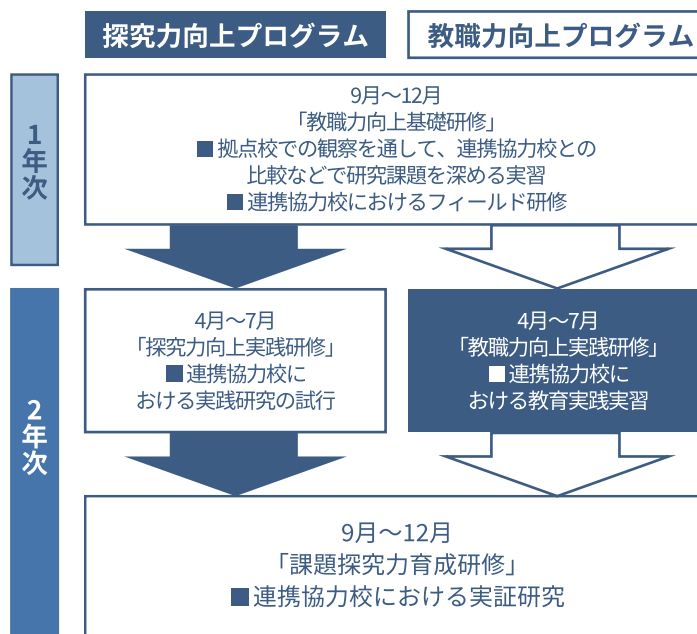
連携協力校の教育ニーズを踏まえた実践的な研究を行い、大学院修了後には、「教員の育成指標」の5年目と同程度の資質・能力を身に付けることを目指します。

教育実践高度化専攻(教職大学院)の組織図

コース	系	選択できるプログラム
学校マネジメント		教職力向上
教科指導重点	言語・社会科学	教職力向上 又は 探究力向上
	理数・自然科学	
	造形・創造科学	
	小学校教育指導	教職力向上
児童生徒発達支援	生徒指導・教育相談	教職力向上 又は 探究力向上
	幼児教育実践	
	養護教育実践	
	特別支援教育実践	
地域・教育課題解決	外国人児童生徒支援	教職力向上
	ICT活用・科学ものづくり推進	

※上記に加えて、教職大学院に3年間在学し、教職大学院の授業履修に加え、免許状取得に必要な学部の科目を履修することで、小学校教諭一種免許状や一部教科の中学校教諭一種免許状又は二種免許状を取得することができる、小・中学校教員免許状取得プログラムがあります。

2年間の研修のイメージ



小学校授業に特化

NEW

小学校教育指導系

子どもを丹念に見守る学級担任として、どの科目でも子どもがしっかりと学ぶことのできる授業をする方法が知りたいといった学生ニーズに対応して、新しい系を開設します。幼小・小中連携や教科横断的な視点、授業づくりの方法論を学ぶことができます。

履修科目

教科横断的なカリキュラムの創造

カリキュラムの構想と授業づくり

教科教育の理論と実践(道徳・特別活動)

教科教育の理論と実践(小学校各教科)



よくある質問

Q: 愛知教育大学出身です。学部の頃にお世話になった先生の指導を引き続き受けられますか？

A: 教職大学院の指導担当となっている場合には、引き続き指導が可能です。学部担当の研究者教員による研究指導に加えて、実務家教員がサポートに加わることから、教職大学院ならではの手厚い指導体制となります。

Q: 教育学部出身ではないですが、出願できますか？

A: 教員免許状(一種)を取得していれば出願可能です。例えば、文学部や情報学部で教職課程を履修し、学部で習った専門性をさらに高めつつ教育分野に生かしていきたいという学生を歓迎します。

Q: 研究を続けたいですが、無利子の奨学金が借りられますか？

A: 大学院生が日本学生支援機構の奨学金を申請する場合に世帯収入の中から親の収入は考慮されないことから、収入の条件としては学部生に比べ数倍は低くなります。